

平成27年度矢板市立矢板中学校グランド・デザイン

家庭・地域

- ・緊密な連携
- ・情報交換
- ・信頼回復
- ・矢板中ブランド力の進化
- ・地域の要請に応える矢板中

教育目標

生徒一人一人の個性を尊重し、豊かな心と強靱な身体を持ち、自主性と英知に富み、将来国際社会においても信頼を得る人間を育成する。

関係法規

日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、矢板市教育振興計画等

危機意識

- ・県立中の選考方法変更
- ・矢中イメージ、負の連鎖
- ・くり返される生徒の荒れ

具体目標

- 自ら学ぶ生徒<知>
- 思いやりのある生徒<心>
- たくましい生徒<体>

MISSION

**Happiness<sup>2</sup>** We aim to create an evolving Yaita J.H.School.

- MISSION 遂行のための6本の総括的な考え方
- 1 【総スタッフ制】 生徒、職員、保護者のすべてが学校作りの「スタッフ」である。
  - 2 【日々の姿勢】 日々、「笑顔」と「挨拶」、高い「モチベーション」を持つ。
  - 3 【キ・ハーツ】 MISSION推進のキー・パーソンは、「生徒会」と「3年生」である。
  - 4 【学びの共同体】 全教科、すべての時間で学び合い学習を展開し、学級や学年、委員会、部活動の中でHappiness<sup>2</sup>を体感する。
  - 5 【学年担任制】 個々の生徒や学級の良さを引き出す意味から、学年職員全体で担任する体制を作る。
  - 6 【指導の一貫性】 「ダメはダメ！」一貫性、ぶれない生徒指導を（生徒指導方針の再検討とよい集団を伸ばし育てる方策の検証）

学校経営方針<3本の戦略>

Happiness<sup>2</sup> 進化する矢板中学校を経営基盤（ミッション）として、全生徒及び全職員が活気と連帯感に満ちた中で、危機的意識を持って学校経営（校務）に参画し、「よい集団」の学校作りを推進していく。

<戦略1> 全職員に対して

- 1 個々の職員の意識改革
  - (1) 資質の向上
  - (2) 使命感と責務の自覚
  - (3) 愛情と情熱、創造性
- 2 創意ある教育課程の編制と実践
  - (1) 分かる・できるHappiness<sup>2</sup>な授業作り
  - (2) 基礎・基本の定着
  - (3) 「学びの共同体」の実践

<戦略2> 全生徒に対して

\* 以下、書かれている戦略について、職員や保護者・地域とともに実践する。

- 3 生徒と職員が共に学ぶ環境の創造
  - (1) 自校や郷土を大切に心を育てる教育活動
- 4 学年及び学級経営の充実
  - (1) 「いじめ」のない好ましい人間関係
  - (2) 生徒一人一人のよさを伸ばす（よい集団を育てる）
  - (3) よりよい自己実現の図れる教育活動
- 5 カウンセリングやガイダンスの強化
  - (1) 内面理解と「夢」を持たせるガイダンスの強化
  - (2) 生命や人権を尊重する心の教育
  - (3) 倫理観や規範意識の育成
- 6 生徒指導と生徒会活動の充実
  - (1) 特別支援教育の理念を基盤
  - (2) 自王的、意欲的、創造的、活力ある進化する生徒会活動
  - (3) 一貫性と「荒れ」に染まらない生徒指導

<戦略3> 保護者・地域

\* (保) 保護者・地域からの学校支援の実例

- 7 「いきいき栃木っ子3あい運動」の実践
    - (1) 生徒相互、生徒と職員、職員と保護者（地域）との人間関係の醸成
  - 8 開かれた学校の推進
    - (1) 家庭や地域、関係機関との生徒指導面での連携強化
    - (2) 地域の有能な人材の活用
    - (3) 「学校ブログ」を日々更新により、教育活動のリアルタイム公開
  - 9 教育環境の充実と整備
    - (1) 施設、設備の充実とメンテナンス
    - (2) 創造的で教育環境にふさわしい人的・物的な環境整備
- (保)見守りと支援  
(保)家庭教育の見直し  
(保)我が子との人間関係との人間関係の醸成  
(保)PTAへの参加協力  
(保)人材の発掘と要請  
(保)日々、確認の努力  
(保)行事やPTA活動への積極的参加